会　議　概　要

会議名称	人権尊重の明るい伊那市づくり審議会
日　　時	令和２年３月１２日（木）　午前１０時～午前１１時１５分
場　　所	５０１会議室

会議事項・概要

１　開　　会　　副会長

２　あいさつ

会長

新型コロナウイルスの感染防止のため、イベントの中止や、小中学校、高等学校が休校になるなど様々な影響がでている。本日の審議会では、「虐待から子どもを守るために」というテーマで意見交換をするが、現在裁判中の、野田市の栗原心愛さんが死亡した事件や児童相談所へ助けを求めた子どもを保護せず、まったく児童相談所が機能を果たしていなかったという事案があった。学校、児童相談所、行政、地域などが連携し、同じ事を繰り返さないよう連携を図ってほしい。

３　協議事項（会長進行）

（１）　令和元年度人権事業実績報告

・資料により、関係 10 課の令和元年度人権事業の実績及び課題に関する工夫を報告。

（質疑応答）

委　員：子育て支援課の児童虐待防止への対策として、来年度から一時的に休息をとることで、子どもと保護者が落ち着いて向き合えるようにするためのレスパイト事業を開始するとあるが、利用者への利用料に対する補助はあるのか。

子育て支援課：ファミリーサポート事業として、現在受け入れる側の研修を行っている。ＳＯＳを出している母親が利用しやすい制度になるよう費用面も含めて実施していく。

会　長：市民や小中学生へ、性的少数者の理解を深める取り組みができたのは良かった。

委　員：児童虐待防止には、保護者への支援が重要。親の生きづらさが虐待に繋がる。
保育園入園前の子どものいる世帯への支援事業はどのようなものがあるのか。

健康推進課：妊娠期から継続した支援ができるよう取り組んでいる。家族の状況を聞き取りし、不安な事、子育ての環境を保健師が察知し、養育支援ネットワークで見守っている。出産応援セミナーも支援に繋げる事が出来る。出産後は、乳幼児健診において、母親の様子からリスクのありそうな家庭には声をかけて、保健師が継続的にかかわっていくようにしている。

委　員：これからも広く網羅した事業を継続してほしい。

会　長：各公民館においても、保育園入園前の親子を対象とした講座を行い交流の場を作っている。ただ、ここへ出てこられない人への支援が必要である。

委　員：新型コロナウイルスによる経済の落ち込みにより、外国人労働者の派遣切りが心配される。休業補償などがあっても、収入は減少する。貧困が虐待の要因になる。外国人へのケア、対策が必要である。

（２）　意見交換　「虐待から子どもを守るために」

伊那市子ども相談室相談員より

・近年の虐待通告件数を虐待の種類、要因、通告経路などに分けて実例を交えて現状報告

・公助中心の支援には限界があり、収入がない、親戚がいないなど自助、共助がない家庭の支援を行政や地域でどう支えるか。サポートする場を地域の中にできないか。また、負の連鎖にならないために、保護施設から子どもを引き受けてくれる里親を全国的に探している。

会　長：大変な状況をお話しいただき、考える機会となった。学校が休みの間、子どもの食事の問題へも対策をしていただいており、フードバンクなど協力できる支援をしていきたい。

委　員：支援の必要な家庭へ助産師にかかわっていただき、助けになった事例がある。助産師との連携はどうなっているか。

健康推進課：来年度から、産後ケア事業として助産師が支援の必要な家庭へ訪問することで助産師に対し補助を出していく。助産師との連携を図っていきたい。

委　員：訪問だけでなく、電話相談にも対応できるよう検討してほしい。

委　員：自分の身近で、子どもを虐待しているのではないかと思う事案があっても、警察や児童相談所へ通報していいのか、どこまで踏み込んでいいのかと躊躇してしまう。

子ども相談室：地域の方の力が必要。気づきが親子を救うことになるので、相談室へ迷わず情報を入れてほしい。小さな芽のうちに解決し寄り添うことができる場合もある。

会　長：虐待から子どもを守るために、現状に目を向け、自分にできることを考えていきたい。

４　その他

なし

５　閉　　会　　副会長